

学力向上に向けた取組

函館市立北昭和小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
読書する習慣が身につけていない

2 課題解決の具体策

繰り返し指導，復習問題の実施
読書活動の推進

3 取組の概要

について

隔週でチャレンジタイム（朝の自習時間）を設定し，計算力の向上や漢字の読み書きの力を向上させるためにドリル学習に取り組んでいる。個に応じた学習に対応するためにも，全学年コピー使用可能な問題集をそろえ，どの学年の問題でもすぐに作成できるようにしてある。さらに，教育課程内の学習時間でも，それぞれの学級で小テストを中心としたドリル学習（主に復習問題が中心）に取り組んでいる。

について

まずは，読む力を身につけるために，読書量を増やすことを児童に勧めている。そのために昨年度から，教務部・研究部・文化部が連携して，読書環境改善のため工夫をしている。学校予算で，本を積極的に購入し，知恵の予算でも図書を購入をすすめてきた。さらに，昨年度は函館市主体的学習支援事業に係る学習資料・図書購入予算で総合的な学習の時間の資料が充実しつつある。これで，児童が使える資料量が増えた。また，昨年度から中央図書館にお願いして移動図書館「ともしび号」が月2回来ることになった。さらに，中央図書館の団体貸し出しを各学年で利用している。それぞれ，100冊ほど期間限定で廊下に置いておき，読書環境改善を図った。文化部では，11月に読書月間を設定し，「読み聞かせ」「本の紹介」「感想の発表」など学校全体での取り組みがなされている。教務部では，隔週で読書タイムを設定し，朝の授業前の時間に全児童が読書をしている。

4 成果と課題

これらの取り組みにより，少しずつではあるが，児童の読書量が増え，読書が好きになったと感じる児童が増えた。また，チャレンジタイムの取り組みにより学習意欲に高まりが見られたとともに，少しではあるが基礎学力が向上した。チャレンジタイムや普段の授業の改善だけでは，大幅な学力の向上は見込めない。個に応じた指導を徹底するためにも授業時間以外に指導する場面を増やす必要がある。読書する児童とあまりしない児童の差が広がってきたので取り組み方を工夫する必要がある。